

小売業・飲食店

の事業場の皆様へ

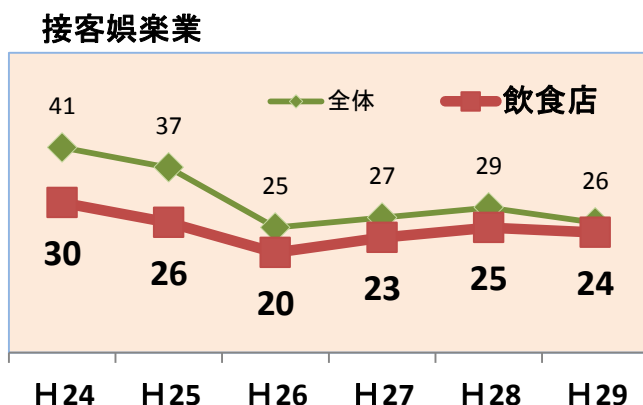
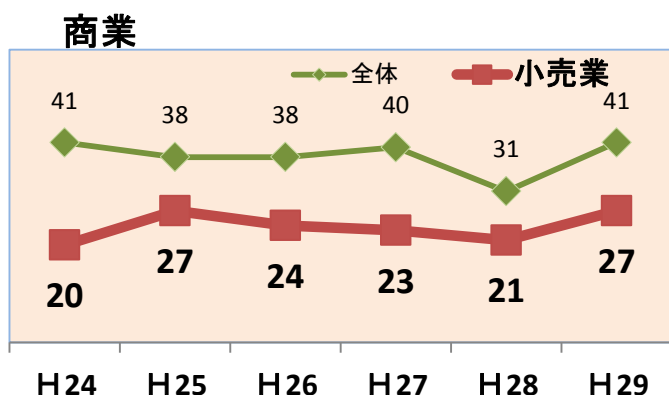
労働災害を防止しましょう！

上野労働基準監督署管内（台東区内）の小売業・飲食店における労働災害は、毎年20件を超え発生しており、減少傾向となっておりません。中でも発生件数の多い「墜落・転倒災害」、「切傷災害」、「動作の反動・無理な動作災害」について、災害の傾向と災害防止のポイントをまとめました。事業場における労働災害防止活動に活用してください。

労働災害発生状況

労働者死傷病報告(H29年は3月末現在速報値)

小売業・飲食店における休業4日以上の災害発生件数の推移（台東区内）



小売業・飲食店における事故の型別発生ワースト5 平成25年以降発生240件(休業4日以上)の内訳

事故の型	件数	%
墜落・転倒の行動災害	93	38
切傷災害	44	18
動作反動・無理な動作(腰痛など)	37	15
高温物の取扱いによる火傷災害	17	7
挟まれ・巻き込まれ	3	5

事業場内を歩行中での階段等からの墜落災害や通路での転倒災害等の「行動災害」が3割以上を占めています。

また、刃物等を取扱う際の「切傷災害」、「動作の反動等」による腰痛等も多く発生しています。

災害事例と対策は裏面に

安全の担当者＝「安全推進者」を配置しましょう

一部の小売業と飲食店の事業場は、労働安全衛生法令による安全管理者等の選任が義務付けられていない業種ですが、同種の業種における労働災害が増加していることから、事業場における安全管理活動を充実させることを目的に「労働安全衛生法施行令第2条第3号に掲げる業種における安全推進者の配置等に係るガイドライン」が示されています。

常時使用する労働者が10人以上の事業場については、1人以上、「安全推進者」を配置しましょう。

*一部の小売業とは、各種商品小売業、家具・建具・じゅう器小売業、燃料小売業以外の小売業をいいます。

安全推進者の活動内容

- 1 職場環境及び作業方法の改善に関すること
- 2 労働者の安全意識の啓発及び安全教育に関すること

もっと詳しく！

安全衛生情報センター 安全推進者配置 ガイドライン

検索

接客娯楽業における災害事例と災害防止のポイント

ストップ！ 墜落・転倒災害

災害事例

「滑り」、「つまづき」、「踏み外し」が転倒の典型的な発生で、両手荷物持ち、足元が暗い等、ちょっとしたことが原因でも発生します。墜落では、不適切な脚立作業や階段の踏み外し等で発生しています。

業種	概要	年齢	経験
小売	乗っていた脚立の脚が閉じ、後ろ向きに墜落した。	30歳代	5年未満
小売	従業員用階段を降りていた際、足を踏み外した。	40歳代	10年以上
飲食	清掃中、ごみ回収車に慌てて外に出ようと、足を滑らせた。	30歳代	1年未満

災害防止対策のポイント

- 通路などの段差・凸凹・突起物・継ぎ目の解消
- 4S（整理・整頓・清掃・清潔）の徹底
- 照度確保、手すりやすべり止めの設置
- 危険箇所の表示など、危険の「見える化」
- 転倒防止のための安全な歩き方、作業方法励行
- 踏み台、脚立等の適正な使用

もっと詳しく！ STOP！ 転倒災害プロジェクト

全業種での労働災害でもっとも多い転倒災害。その増加抑止に向けたさまざまな対策を紹介しています。

STOP！ 転倒 検索

ストップ！ 切傷災害

災害事例

厨房における包丁やナイフ等の手工具を使用しでの切傷災害が多く発生しています。そのほか、割れたガラス等を取り扱う際の災害も発生しています。

業種	概要	年齢	経験
小売	スライサーの清掃中に丸刃を拭いた際、手指が刃に触れた。	50歳代	5年未満
飲食	包丁で食材を切る際、力を入れすぎて刃先が滑り、指に触れた。	10歳代	5年未満
飲食	洗い場でグラスを洗浄中にスポンジを廻した際、グラスが割れて指に触れた。	30歳代	10年未満

災害防止対策のポイント

- 刃物は落ち着いて慎重に取り扱う
- 4S（整理・整頓・清潔・清掃）の徹底
- 食器を扱うときは、ゴム手袋等、手指を保護するものを着用する
- 食品加工機械を使用する際は、刃物ガードを外さない（本来の使用方法を徹底する）

ストップ！ 動作の反動災害・腰痛災害

災害事例

動作の反動災害は、吐嗟の動作に伴うものや、転倒する前に踏みとどまり無理な姿勢となったケースで多く発生しています。腰痛は、重いものを持った際や悪い姿勢をとった際に多く発症しています。

業種	概要	年齢	経験
小売	床に落ちたゴミを拾い、しゃがんだ姿勢から立ち上がった際、膝を捻った。	50歳代	5年未満
飲食	階段を降りきったところで、足を挫いた。	40歳代	5年未満
飲食	肩よりも上の高さにあるダンボール箱をかかえるように持った際、腰痛を発症した。	30歳代	5年未満

災害防止対策のポイント

- 作業人員や作業姿勢の見直し
- 温湿度や照明、段差等の作業環境の整備
- 作業前のストレッチや腰痛予防体操の導入

もっと詳しく！ 職場における腰痛予防対策指針

事業者による腰痛予防のための労働衛生管理の方法について示しています。

職場における腰痛予防対策指針 検索

4S運動は安全の基本

上記の災害防止対策でも共通して掲げている4S（整理・整頓・清掃・清潔）は日常の活動として効果的です。職場全体で取り組ましましょう。

整理	必要な物と不要な物に分けて、不要な物は処分する。
整頓	必要な時に必要な物をすぐ出せるように、安全な状態で位置させること。
清掃	身の周りをきれいにし、衣服や作業場のゴミや汚れを取り除くこと。
清潔	整理・整頓・清掃を繰り返して、衛生面を確保し、快適な状態を実現・維持すること。

進めよう危険の「見える化」

職場の危険を全員で共有するには危険箇所を可視化（＝見える化）することが効果的です。

見える化の例

